

ハロウィンイベント

石狩沼田駅



JR石狩沼田駅前を中心として、町内の有志団体「ゆきものがかり（藤村健一会長）」による、ハロウィンイベント「ハロウィン・フォトスポット・イン石狩沼田駅前」が10月30日（土）に開催されました。

イベントは28日（木）から3日間行われ、最終日30日は、小学生や一般参加者が作った、かぼちゃランタンコンテストや、仮装した子ども達の写真撮影会と仮装コンテストが行われました。

かぼちゃランタンは工夫された作品が多く、特に入賞作品は見事な出来栄に来場者も感心の声をあげていました。

また駅前の特設ステージや駅の構内では、いろいろな衣装に身を包んだ子ども達の記念撮影が行われ、来ていたお母さん達が「可愛い！」と連発していました。

イベントを主催した

ゆきものがかりのご紹介

異業種7〜8名のメンバーが「沼田町のために活動していきたい」という思いで、平成22年にスタートした団体です。

活動は拡大し続け、日本で初めて真夏に天然雪を使ったスキー・スノーボード大会を実施した「雪夏祭」などを開催し、現在は会員48名で活動しています。

ゆきものがかり発足当初、ハロウィンイベントが日本にまだ根付いていない頃から、オレンジ色のカボチャを商店街に置き、街を「オレンジ色に染めたい」と藤村健一会長と川嶋敬さんの2人でイベントを開催。今では仮装コンテストやカボチャを彫刻し、美しさを競うランタンコンテストなどを行い、町外の方々も毎年参加するイベントとなりました。

食の土産開発にも携わ

り、川嶋菓子舗と共同で、雪中米の米粉を使った「雪んこ焼き」を開発。沼田町の雪の取り組みをPRするなど、地域の活性化にも積極的な団体です。





小学生がジャック・オー・ランタン作り



▲ 5年生

ハロウィンイベントを前に、沼田小学校の4年生から6年生が3日間に分けて、地域おこしグループ「ゆきものがかり」のメンバー指導で、ハロウィンかぼちゃでジャック・オー・ランタン作りを行いました。

スプーンでかぼちゃの中身を掻き出したり、のこぎりでくり抜きデザインして、自分だけのジャック・オー・ランタンを作り上げました。



▲ 6年生



▲ 4年生